



おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

26

2007年 12月

特集

「第1回 近畿ブロックお手玉遊び奈良大会」(奈良県)

奈良お手玉の会「たまゆら」 中川孝子さん



● 地域活動

- ・第1回 おしなご遊び 信州飯田講習会(長野県飯田市)
- ・近畿ブロック お手玉遊び指導者養成講習会(兵庫県神戸市)
…豊岡市港お手玉の会 中嶋則子さん
- ・第4回 市民お手玉遊び 美濃加茂大会(岐阜県美濃加茂市)
…美濃加茂お手玉の会 安藤美恵子
- ・「現場から生まれた福祉お手玉」
…日本のお手玉の会 師範代 今村シメ子さん

● 連載 - 各地のお手玉歌

- ・一かけ 二かけ

● 本部からのお知らせ

- ・新しい支部の紹介
- ・ホームページが新しくなりました!
- ・新理事会報告
- ・全国支部長会議報告
- ・第8回指導者養成講習会
- ・「お手玉の唄」CD完成
- ・「新居浜市制70周年記念誌」完成

第1回「近畿ブロックお手玉遊び奈良大会」報告

日本のお手玉の会が新しい組織体制となり初めての「ブロック大会」が、平成19年10月20日(土)・21日(日)の2日間、奈良市「ならまちわらべうたフェスタ2007」に合

わせて開催されました。近畿ブロックでは現在12支部が活動をしており、今回は奈良お手玉の会「たまゆら」が中心となり開催されました。それまでの楽しいお話しなど実行委員長の中川孝子さんにお伺いしました。

第1回近畿ブロックお手玉遊び奈良大会を終えて

実行委員長 中川 孝子

平成19年10月20日(土)、ならまちセンター市民ホールにおいて、近畿ブロック15支部、約200名の参加を賜り開催させていただきました。お手玉愛好家のみなさまのぬくもり溢れる熱意で、テーマ「体験、お手玉遊び」を楽しく、笑顔いっぱいのお話に盛り上げていただき、ありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

♪ 奈良の大仏さんは

天日に焼けて

アリア ドンドンドン

コリヤ ドンドンドン ♪



楽しいお手玉演舞♪

お手玉とわらべうたが、とつてもよく似合う町「ならまち」へようこそお越しくださいました。オープニングは、結成25周年を迎えられた「まつぼっくり少年少女合唱団」のお手玉をゆりながらの、わらべうたメドレー。荒井敦子先生ご指導の「森に生かされて」。古都奈良の歴史、自然環境の大切さ、自然への感謝等、すばらしい歌声のメッセージに感動し、会場からは大きな拍手が贈られました。開会宣言は、日本のお手玉の会会長代理でご出席いただきました、副会長春田智明様の挨拶をいただき、続いてご来賓のみなさまのご祝辞を、また近畿ブロック代表理事の北村義雄様のお言葉をいただきました。乾巴香ちゃん、乾皓貴くん、ウオーミングアップ、そして個人戦へと

進行、日頃の實力を發揮されての熱戦。

日本のお手玉の会師範代、今村シメ子様は、新居浜を早朝に出発され、途中JRのトラブルに見舞われながら、会場へ駆けつけてくださいました。お疲れの中、早速に有り難い激励のお言葉をいただきました。また、模範演技をご披露していただき、技の素晴らしさ、美しさに引きつけられ見とれてしまっさら、ユーモアたっぷりの楽しいお話に、心癒される思いがいたしました。

人気上昇のお手玉演舞は、7チームが出演、選曲・趣向こらしての衣装、振り付け、そして技、どちらのチームも素晴らしい。演ずる側も楽しく、見せていただく側も楽しい。そして、広い舞台、照明音響抜群。存分に



競技の前に、みんなでウォーミングアップ

に楽しませて頂くことができました。審査の先生方のきめ細かい採点、厳しい中にも優しき、温かさがたっぷりの評価をいただき、納得!!「唄いながら」「振りを大きく」「もっと明るい笑顔で」と有り難いアドバイスもいただき、印象に残る楽しい演舞大会でした。審査結果待ちの間に、春田副会長が機転をきかせてご指導いただきましたお手玉遊び、お見事でした。マジックに引き込まれたような錯覚、何度もご指導いただき、大きな笑いと転じ、ほのぼのとした雰囲気!!ご援助いただき、ありがとうございます。

団体戦は、25チームでのトーナメント。落ちても笑顔、負けても笑顔、力の入る接戦もあり、決勝戦には盛り上げを見せていただいた団体戦でした。最後まで審判にご協力賜りましたみなさま、お疲れさまでございました。御礼申し上げます。

また、近畿ブロック代表理事北村義雄様、中嶋則子様には、温かいご支援とご指導を賜り、本当にありがとうございます。書面をお借りいたしまして、厚く御礼





真剣な個人戦の様子

申しあげます。お手玉との出会い、そして今、平成8年7月、奈良市福祉協議会音楽療法推進室、荒井敦子先生ご指導の健康作りのためのシルバーコースが、お手玉との出会いでした。ならまちわらべうたフェスタ96のお手玉大会に初めて参加、平成14年2002まで行われ、優勝メンバーが、全国お手玉遊び大会に参加させていただきました。その後、自主活動となり、念願の奈良支部が誕生、現在小さいながらも地道に楽しく活動を続けております。この度、この奈良大会を開催させていただくこととなり、ならまちわらべうたフェスタ2007実行委員会のみなさまにも心強いご協力をたまり、感謝いたしております。

礼申しあげます。奈良支部、たまゆらとしては、全く初めての大きな企画を受けさせていただきました。検討もつきませず、不安が募るばかりでございましたが、企画・広報・その他多くの項目に分けて担当を決め、お互いに助け合いながら必死で準備に取りかかりました。大会本番まで、時間不足では？と案じながらの作業の連日でした。「温かい、手作りの大会に」を目指して、すべて手作りで頑張りました。メンバー一同、小さな力を寄せ合い、温かい人間関係を育みながら、充実したとても楽しい準備期間でした。暗中模索いたしながらの短いじゅんびでしたので、充分には至りませんでした。当日ご参加いただきました各支部のみなさまのご協力にて、温かい大会に盛り上げていただき、終了することができました。温かい心の輪(和)が少し大きくなった思いがいたしております。「ぬくもりを届けたい、手から心へ」今回、貴重な経験をさせていただき、今後の活動への糧として、世代間交流を大切にいたしながら、日本の大切な伝承文化お手玉遊びを続けて参りたいと願っております。

第1回 おしなご遊び 信州飯田講習会

夏の初めの爽やかな日、6月30日(土)・7月1日(日)の2日間、長野県飯田市にある鼎(かなえ)公民館にて「第1回おしなご遊び信州飯田講習会」が開催されました。当初の募集参加人数は50人でしたが、希望者が多く、県内はもとより東京都、大阪市、岐阜県、広島県、愛知県から約95人の受講者が集いました。



お手玉展示会場にてあじさいの袋で話がはずみました

開会行事では、飯田市長牧野光明様のご臨席を賜り、「おしなご遊びは飯田市が力を入れて『地育力(地域で子供を育てる力)』の原点に通じるもの。」と、暖かく力強い言葉をいただきました。

講義は、熊本市から「ひごちよんがけごま名人」坂下一朗先生のウォーミングアップから始まり、藤田会長のお手玉の基本的な知識とお手玉教室での指導方法、日本舞踊花柳流花柳吉美先生の「いしなご」の演舞、また歌曲の指導は中島宏暢先生による本格的な取り組みでした。さらに、日本のお手玉の会前顧問の田中邦子先生の竹がえし、その他の伝承遊びを。長野県南信おしなご会の篠田会長の「古典からのおしなごの世界」のテーマで古歌、東洋陰陽五行説の奥深い講習、長野県飯田地方に伝わる「おさらり(拾い技)」の指導もあり、実り多内容でした。



「古典に学ぶおしなご遊び」長野県南信おしなご会 篠田啓子さん



日本舞踊 花柳流 花柳吉美美先生

さらに、長野県南信おしなご会考案のオリジナル「結びおしなごりんりんコスモス」を使って挑戦する「おしなご級位の認定基準」は級位も会で独自に設定されており、合格された方には、会が発行する認定証が授与されました。ここではか発行されないおしなご級位に、合格者はとても幸せそうに認定証を眺めていました。

講習会の間、「おしなごの世界展」として会場には、篠田会長がこれまで集められたおしなご、そのルーツや歴史、また日頃の活動内容などの展示もありました。

信州日報に掲載される！
歴史的背景や運動効果にも注目

「手先を使いながら遊ぶおしなご」に東洋医学や礼儀作法のベースがあると見出し、日本文化もからめて独自の視点でおしなごを分析した成果を「古代から未来へ発信する『おしなごの世界展』」と掲載され注目が集まりました。

講習会の最終日には修了証とそれぞれの楽しい思い出を胸に、再会を約束して解散いたしました。

近畿ブロックお手玉遊び 指導者養成講習会に参加して

豊岡市港お手玉の会

会長 中嶋 則子さん

ひとことに近畿といってもとても広く、急行電車しかない但馬は神戸から3〜4時間もかかります。そんなこともあって、毎年本部で開催される指導者養成講習会にはなかなか参加できず、残念な思いをしていました。神戸お手玉の会の温かい企画で、毎年参加させていただいております。今年からは、「近畿ブロック」と組織が変わって、但馬の4支部はバス1台で参加させていただきました。

今年も、平成19年8月18日(土)・19日(日)の2日間、兵庫県民会館にて近畿ブロック内の支部から67名の参加があり、会場がいつぱいで開催前から熱気にあふれていました。1日目は、お手玉遊びの基本として、神戸お手玉の会北義雄講師、本部か



ら今村シメ子師範代、村尾杉代・久保路子両先生に指導を受け、2日目は、前日の講師の方々のご指導と、熊本おじゃめの会より日本のお手玉の会顧問中原和彦先生の講演がありました。講演の中ではヨーヨーお手玉の技の披露もあり、参加者を限りなく魅了致しました。

中原和彦顧問のお話は、
いつ聞いても役に立つ!!

会場は中原先生のお話を聞こう、技を見ようとして、誰もが前の席へと一杯になるほどでした。先生が新しく考案されたヨーヨーお手玉は、幼児、老人にも使やすく、普段は患者さんの快復のために使用しているということでした。先生ご自身のヨーヨーお手玉の技も名人芸で、私はいまだにできません。最後までお話を聞いて、「医学的にも精神的にも、時々先生のお話を聞くことが自分自身を育てるためにも必要だなあと感じました。

今村シメ子師範代の
技はスゴイ!!

今村師範代と村尾・久保両先生によるお手玉遊びと競技性のある遊び方、異世代で遊ぶお手玉遊び、「ハビリお手玉」などの指導を受けました。参加者は一つでも多くの技を習得しようと、休憩時間も惜しんで汗びっしょりになってがんばっていました。何回教わっても、今村師範代の技の奥深さに感服しました。何よりも参加者は満足の気持ちでいっぱいのようにでした。模範演技では、体力と技の兼ね合いを学びましたが、今村師範代は本当にお元気で、パワーが溢れていました。

指導者養成講習会で
得たもの

◇指導者として多くの人たちにお手玉遊びの楽しさと技をとおしてどのように伝えていくかのヒントを得ました。

◇近畿の仲間と出会って、人生の楽しみや喜びを話し合うことができました。

◇お手玉をとおして体力的にも精神的にも強くなりました。

◇競技は老若男女誰でも楽しめて、その現場にあったマニュアル作りが必要であることを感じました。

◇指導者が「自信が持てる資格」が必要ではないかと感じました。

◇ヨーヨーお手玉が使えると確信しました。

ミニお手玉大会では、さすがリーダーばかりで最高に盛り上がり、受講者全員が修了証をいただき「またお会いしましょう」と、とっても充実した、盛りだくさんな2日間でした。



まずはウォーミングアップから

追 筆

北村理事のお世話で、その日の宿泊者一同が会食する場を設けていただきました。話はお手玉のことで盛り上がり、「年に一度くらいは大会だけでなくいろいろな現場での様子や思いを話し合うのも必要だね」ととても前向きな声があり、楽しいひとときでした。

これからも、近畿ブロック代表理事として、ブロック内外の支部とコミュニケーションを図り、いろいろと楽しい会を計画してまいります。最後になりましたが、本部の先生方、中原顧問、神戸お手玉の会のみなさまの力により、楽しく有意義な2日間を過ごせましたことを心よりお礼申し上げます。



さすが指導者だけあって余裕の表情

第4回お手玉遊び 美濃加茂大会を終えて

美濃加茂お手玉の会
会長 安藤 美恵子

8月の下旬「多治見では日本最高気温を記録しました」と報道されている時、第4回、いえ、会にとつては初めての大きなイベントの準備に取り組んでいました。美濃加茂市お手玉の会が発足して4年目、地元での美濃加茂大会を含め、毎年の全国大会には、着実にお手玉愛好者を増やしてまいりました。行政サイドが始まったこの会も3年を過ぎ、自立をするか、終わりにするかと肩をたたかれた時、迷わず自立を選び、初めての市民大会でした。お手玉人口を増やすことは、とても楽しくできました。それは「全国大会があるまで頑張ると楽しいことがあるよ」と目標意識をもつての地域活動でした。

まず、第4回目の市民大会を開催しなければならぬ状態に会員全員を追い込むことから始まりました。実行委員会の立ち上げ、大会運営の計画、PR方法など二手にのしかかる中、会場探しも大変でした。昼にこだわり文化の森の中に新築された古民家を借りることができました。

第四回市民お手玉遊び
美濃加茂大会が二十六日、美濃加茂市蜂屋町のみのかも文化の森で開かれ、市内外の約三百人がお手玉の妙技を競った。

お手のもの



お手のものを競う子どもたち—美濃加茂市蜂屋町で
がら、曰ろの練習の成果を披露。華麗なまはばきでお手玉を操り、熱戦を繰り広げていた。

美濃加茂で大会
お手のもの妙技競う

2007年(平成19年)8月28日「中日新聞」

その後、募集を始めてもPR不足なのかなかなか申し込みがなく不安になりましたが、最終的には団体12チーム、学生チームや個人戦に約150人と、正直「私たちの限界を超えている」と思われるほどの申し込みがあり、ホッと安心いたしました。会員の気持ちもひとつになり行政の協力も得ることができ、なんとか当日を迎える事ができました。当日は空調もなく連日40℃近い極暑日の中でしたが、不思議と木立の中にある古民家の中は涼しい風が通り抜け、暑さを忘れさせてくれました。

個人戦のみ皆さんの技は年々上達し、考えていたハンディでもなかなか決着がつかない始末。選手の皆さんの頑張りには感動しました。そのせいで、どの種目においても入賞者の顔ぶれが決まってしまうので、次回からの課題の一つになりました。

技量アップで 重なる引き分け、再試合

団体戦では、本命と言われていたチームが思わぬところで敗退し、とてもがっかりした場面もありましたが、一方、勝利したチームの「ヤッター」という喜びの声には、会場が盛

り上がり、審判をしている我々もとても楽しませていただきました。第1回からの参加者は、ほぼ同じ顔ぶれですが、他の皆さんの技の上達に伴い、引き分け再試合になる度に会場が白熱し、楽しさや感動は2倍にも3倍にもふくれあがっているように感じました。

参加者からは「今年は何で全国大会あらへんの?」「全国大会なしなんだってね、残念」という声を聞き、自分たちの技に自信を持ち、お手玉の楽しさをしっかり身につけてくれている証拠と受け止め、出前講座や施設の訪問、学童保育、クラブ活動へのお手玉遊び指導が生きているなど実感しています。そんな言葉を聞いていると「来年も頑張って開催しようかな!」と目標ができました。

会員30名足らずで市民大会を乗り切れたことがその後の会員の姿勢にも表れ、依頼があれば時間のゆるす限り出前講座やイベントに参加してくれたり、会としてはとてもいい状態になりました。会員は、大会運営のため自分たちはゲームには参加できなかったのでも、11月には会員のためのお手玉遊び大会を行う予定です。今頃密かに技を磨いていることでしょう。

現場で生まれた福祉お手玉

日本のお手玉の会
師範代 今村 シメ子

平成19年3月、5年間勤務した老人総合施設の痴呆対応型グループホームを退職いたしました。その間、私の人生観も変わる、大きな一節となり、60有余年を経た中では得られなかった貴重な期間となりました。

第3回全国お手玉遊び大会に参加して以来、40gのお手玉の魔法にかかった様にどっぷりと漬かってしまいました。お手玉のご縁

で、老人施設やデイサービス、高齢者社会に向けボランティア活動を始めた時、社会から離れ、家族や知人、地域からも離れて入居されている利用者。日常生活動作(ADL)だけでなく、生活の質を高める(QOL)ために、どのように楽しみ作りを提供しようかと工夫を重ねました。その一つとして、全国お手玉遊び大会への参加を目標に、馴染みのある歌、高齢者にふさわしいお手玉の技やゲームを織り交ぜたり、お手玉人気が上昇する中、介護のプロとして認知症予防に「お手玉カーリング」ゲームや、福祉お手玉のオリジナルコース「ハビリお手玉」を編み出しました。

グループホームでスタッフ協力のもと、第15回全国お手玉遊び大会には2チーム参加できました。大会後、NHKの取材に応じたTさんは、「楽しかった!」「また出たい!」と答えられたのが、今も忘れられない大きな喜びでした。

今後は、この体験を活かし、地域に或いは高齢化がますます進む社会で必要とされるなら、積極的に出向き、たくさんの人にお手玉の楽しさを伝え、健康への一助になればと思います。



高齢者と共にお手玉演舞を楽しむ
今村師範代

連載 各地のお手玉歌 クローズUP

『一かけ二かけて』（那須鳥山町）

お手玉をする人に「お手玉歌は？」と尋ねてみると必ず「一かけ二かけて」と答えてくれる人、また「一番はじめは「二列談判」と答えてくれます。そうです!!この3曲はともリズムがよく、メロディーが同じ、振り技（投げ玉、突き玉、ゆり玉）です。体が自然と動きだします。

歌詞の内容は、とりわけ戦争にちなんだ歌詞で、当時の社会的世相を、子ども感性で捉えて歌ったものと思われまます。「一かけ二かけて」は西南戦争を歌った歌、「一番はじめは」は神社仏閣を歌った歌、「二列談判」は日露戦争を歌ったものです。現在は、平和共存の中で、戦争の歌詞は適切ではありませんが、高齢者の方々には昔のお手玉歌を思い出出すことによって記憶を甦らせる歌ではあります。

「二列談判」でお手玉をした時代の歌

一列談判破裂して

日露戦争になりました

サッサと逃げるはロシアの兵

死んでもつくすは日本の兵

五万の兵を引き連れて

六人残して皆殺し

七月八日の戦いに

ハルビンまでも攻め入って

クロバトキンの首をとり

東郷元帥万々歳



一かけ二かけて 栃木県那須鳥山市

一かけ 二かけて 三かけて

四かけて 五かけて 橋をかけ

橋のらんかん 手を腰に

はるかむこうをながむれば

十七八の ねえさんが

両手に花もち線香もち

ねえさんねえさんどこいくの

わたしは九州鹿児島

切腹なされた 父母の

お墓まいりに まいります

お墓の前で 手を合わせ

南無阿弥陀仏 なんまいだ



「一番はじめは」でお手玉をした時代の歌

一番はじめは 一の宮

二は日光の 東照宮

三は佐倉の 宗五郎

四は信濃の 善光寺

五つは出雲の 大社

六つ村々 鎮守様

七つ成田の 不動さん

八つ八幡の 八幡宮

九つ高野の 弘法さん

十で所の 氏神さん



番組名
NHK-BS「熱中時間」



●放送日時●

平成20年
BShi 1月11日(金) 19:00~19:59
BS2 1月13日(日) 21:00~21:59
BShi 1月21日(月) 12:00~12:59
再放送



♪なんでだろ～なんでだろ～♪



♪なんでだろ～なんでだろ～♪
トモ&トモさん

お手玉4段に挑戦!

以前、取材活動で新居浜市の日本のお手玉の会本部へ来られた際に、お手玉3段を取得されたトモさんが、今回一念奮起して昇段審査に挑戦されます。今年11月に再度来新し、忙しい芸能活動の合間をぬって今村師範代の指導を受け猛練習、腕をみがいて更に技量アップをはかり、12月に東京の「八王子お手玉の会」が実施するお手玉段位認定審査会で、お手玉両手4個ゆりの4段位に挑戦することになりました。見事合格されますようお願いしたいと思います。今村師範代の日頃の活動状況とトモさんの練習から挑戦までの様子が下記のとおり放映されますので、ぜひご覧ください。

本部からのお知らせ

新支部 紹介

第55号

神戸長田支部
「神戸長田区お手玉の会」
会長／前田敦子さん

第56号

新居浜支部
「新居浜お手玉の会」
会長／田坂富美子さん

◎ホームページが新しくなりました!

6月に参加いたしました「ニューカレドニア日本文化祭り2007」の楽しい報告も掲載されております。また、会報が1回/1年となりましたので、会員のみなさまへのお知らせは随時更新してまいりますので、ぜひご覧ください。

◎「お手玉唄」のCDが完成しました。

「日本のお手玉の会」が協力した『お手玉の唄』CDが、株式会社フォンテックより発売されました。新居浜市で開催の全国お手玉遊び大会に参加された方々には、ご記憶に残っていることと思いますが、美しい歌声は新居浜青少年少女合唱団のみなさんです。心癒される歌声をぜひお聞きください。

曲 目

- ①人の寄るのを
(愛媛県西条市小松町)
- ②おさらい(東京都)
- ③おさら(高知県)
- ④おしゃらい(大分県)
- ⑤一でたちばな(山口県)
- ⑥一でたちばな(兵庫県)
- ⑦おひとおふた(大阪府)
- ⑧おじゃみ(島根県出雲地方)
- ⑨日清戦争(東京都八王子市地方)
- ⑩うくいすや(青森県)
- ⑪一かけ二かけて
(栃木県那須烏山市)

- ⑫ずいずいずっころばし
(わらべうた 菊川迪夫編曲)
- ⑬いちでたちばな(佐賀県 林光編曲)
- ⑭お手玉(文部省唱歌 萩原英彦編)



指揮／安藤 豊 ピアノ／野口 愛 歌声／新居浜青少年少女合唱団

※お手玉の唄CDのお問い合わせにつきましては、下記までお願いします。

◆株式会社フォンテック 03-3393-0183(代)

◎「新居浜市市制施行70周年記念誌」が完成しました。

記念誌は、礎(近代化遺産)・誇(太鼓まつり)・心(お手玉)の3冊から構成され、心では、第1回から15回の全国お手玉遊び大会の会場の楽しい様子やお手玉の歴史、また遊び方などが掲載されております。発行部数が限られておりますので、各ブロックへ1冊ずつ配布させていただきましたので、ぜひご覧ください。



※新居浜市市制施行70周年記念誌のお問い合わせにつきましては、日本のお手玉の会事務局までお願いします。

◎新理事会が発足しました。

理事会、全国支部長会議で新しく決定した事項は次のとおりです。

- ◆今後の理事会運営について
 - ・理事会は予算と決算報告のため年に1回程度の開催とする。
- ◆支部会員会費の未納について
 - ・個人会員会費の場合は、会費が1年以上滞った場合は自然退会となっているが、支部会員会費の場合は、会費が2年以上滞った場合、自然退会とする。
- ◆ブロック会議の開催について
 - ・各ブロック内の意見をまとめ、理事会で協議できるように、各ブロック会議の充実をはかる。
- ◆会報の発行について
 - ・1回/1年の発行とし、発行回数が減ることによる情報は、ホームページを充実して最新情報を掲載する。
- ◆お手玉グッズの販売について
 - ・支部会員からのご注文は各支部で取りまとめてから注文していただく。
 - ・本部からの発送は毎月15日と末日とする。
- ◆段位認定審査について
 - ・段位認定証の発行は、支部または本部に登録された会員に限ることとし、認定時に途中会員登録することも可能とします。
 - ・審査員は、本部へ申請することにより、各支部でも開催することができま。

◎「第8回お手玉遊び指導者養成講習会」開催決定

開催日 平成20年3月22日(土)・23日(日)

場 所 レイグラッツェふじ(愛媛県新居浜市)

申込方法 別紙(申込用紙)に必要事項をご記入の上、事務局までお申し込みください。なお、支部会員の方は各支部長までお申し込みください。

申込期間 平成20年2月29日(金)

※定員(50名)になり次第、締切させていただきます。
※詳細につきましては、裏面(開催要項等)をご覧ください。

◎年末年始の休館のお知らせ

下記の10日間休館し、7日(月)より開館させていただきます。

平成 19年12月28日(金)

↓

平成 20年 1月 6日(日)

第8回 お手玉遊び指導者養成講習会 開催要項

日時／平成20年3月22日(土)9:30～17:00
23日(日)9:00～15:30

会場／レイグラツェふじ

〒792-0031 愛媛県新居浜市高木町3-2 (TEL0897-34-2221)

講師 日本のお手玉の会 会長 藤田 石根(愛媛県)
(依頼中) 師範代 今村シメ子(愛媛県)

●**講演**
東京お手玉の会 副会長 宮中 雲子(東京都)

●**ウォーミングアップ**
川東おじゃみの会の皆様(愛媛県)

●**地域活動報告**
八王子お手玉の会 会長 鈴木 幸子(東京都)
奈良お手玉の会「たまゆら」会長 福永 行洋(奈良県)
福岡お手玉の会 会長 藤井 昭子(福岡県)

参加費 10,000円/お一人
昼食代(2日間)・講師費用・資料作成費・通信費・記録費・会場費を含む

内容 ●**お手玉講演**
「サトウハチローとの出会いとそれからの私」
日本のお手玉の会 副会長：宮中雲子

●**お手玉指導の基本**
・お手玉の効能と伝承文化の必要性
・指、体、脳を動かす
・振り技、拾い技
・段位取得へ 技とコツ

●**お手玉演舞の作品と技** ●**各地域の活動報告**
●**お手玉演舞発表** ●**段位認定審査**

【ご用意していただくもの】
○筆記具 ○運動のできる服装 ○運動靴 ○お手玉

交流会 日時／平成20年3月22日(土)18:00～20:00
会場／レイグラツェふじ
〒792-0031 愛媛県新居浜市高木町3-2 (TEL0897-34-2221)

交流会費 3,000円/お一人(参加自由)

申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて下記申込先までお申込みください。
※支部会員の方は、各支部の会長までお申し込みください。

申込期限 平成20年2月29日(金) 必着

申込先 日本のお手玉の会 事務局

※1日のみでの参加の場合は、修了証は発行いたしません。
また、参加費の減額もいたしませんので、予めご了承下さい。
※宿泊のお申し込みは別紙(宿泊申込用紙)にて、フジトラベルサービスまでお申し込みください。
※講師につきましては、現在依頼中です。また、内容につきましても、一部変更になる場合がございますので、ご了承くださいませ。

日本のお手玉の会 師範代名簿 (平成19年11月現在)

今村シメ子(愛媛県) 村上 梅子(広島県)
小田原充宏(東京都) 川元富美子(広島県)
杉村美智子(福岡県) 浅野 朝子(広島県)
平田 邦子(広島県)



日本のお手玉の会 役員名簿 (平成19年11月現在)

会長◆藤田 石根

副会長◆春田 智明 九州・沖縄ブロック代表理事
長野 文彦 新居浜お手玉の会
宮中 雲子 東京お手玉の会

理事◆飯田喜久子 北海道・関東ブロック代表理事
篠田 啓子 信越・北陸・東海ブロック代表理事
北村 義雄 近畿ブロック代表理事
中嶋 則子 近畿ブロック代表理事
福田 環 中国ブロック代表理事
田坂富美子 四国ブロック代表理事

監事◆渡辺 久司 美濃加茂お手玉の会
天野 征郎 新居浜お手玉の会

顧問◆佐藤 靖典 福岡県レクリエーション協会 専務理事
武田 信之 日本のお手玉の会 前会長
中原 和彦 ヘルスアートクリニックくまもと 院長

日本のお手玉の会 ブロック名簿 (平成19年11月現在)

九州・沖縄ブロック
ブロック代表理事 春田 智明

熊本おじゃめの会	会長 荒木千鶴子
福岡お手玉の会	会長 藤井 昭子
北九州お手玉の会	会長 古川 孝子
大牟田お手玉の会	会長 杉村 治男
沖縄お手玉の会	会長 田中美也子
もってこい長崎・お手玉の会	会長 都知木 睦
鹿児島お手玉の会	会長 山本 清洋
行橋のお手玉の会	会長 中山 克己
沖縄いしなぐの会	会長 玉那覇清子
築豊お手玉の会 ボタちゃん	会長 永木 清子
ひまわり	会長 永島 靖代

北海道・関東ブロック
ブロック代表理事 飯田喜久子

東京お手玉の会	会長 飯田喜久子
八王子お手玉の会	会長 鈴木 幸子
岩内お手玉の会	会長 高橋 照子
札幌お手玉同好会	会長 佐野 栄市
ハッピーウェルカムの会	会長 鶴田 信子

信州・北陸・東海ブロック
ブロック代表理事 篠田 啓子

長野県 南信おしなご会	会長 篠田 啓子
高蔵寺お手玉の会	会長 飯田 和子
美濃加茂お手玉の会	会長 安藤美恵子
伊那谷お手玉の会	会長 亀山 福治

近畿ブロック
ブロック代表理事 北村 義雄 中嶋 則子

神戸お手玉の会	会長 井上 三美
豊岡市港お手玉の会	会長 中嶋 則子
西宮お手玉の会	会長 山形 隆子
尼崎のお手玉の会	会長 池辺美保子
八千代「やまとおじゃみの会」	会長 益田みち子
やぶお手玉の会	会長 田原ちづ子
たじまJA女性会	会長 藤本 逸子
日高玉ゆりの会	会長 長谷川かず子
神戸長田区お手玉の会	会長 前田 敦子
大阪ふじみ会	会長 尼川 珠美
奈良お手玉の会「たまゆら」	会長 福永 行洋
和歌山お手玉の会	会長 森 勝代

中国ブロック
ブロック代表理事 福田 環

とっとりお手玉の会	会長 福田 環
ひろしまお手玉の会	会長 小田 寧之
尾道お手玉フレンド	会長 平田 良幸
JA岡山お手玉の会	会長 藤原 忍

四国ブロック
ブロック代表理事 田坂富美子

勝浦お手玉の会	会長 殿川 武男
山内病院お手玉の会	会長 越智 宣子
かわろそお手玉の会	会長 尾崎 正乃
西予市お手玉の会	会長 宮本 和朗
新居浜お手玉の会	会長 田坂富美子



【発行・編集】

日本のお手玉の会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644

E-mail:tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ: http://www.shikoku.ne.jp/otedama/